

教養試験（一般事務員（上級））

【例題1】日本の財政赤字に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

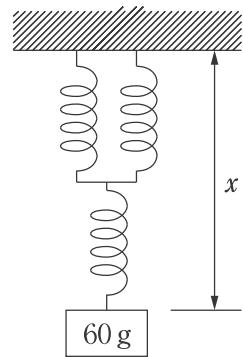
1. 第二次世界大戦後は、均衡財政の原則の下で国債発行は行われてこなかったが、1990年代初頭のバブル崩壊以降、建設国債の発行が始まり、2000年代に入ってからは赤字国債の発行が始まった。
2. 国債発行の問題点としては、将来世代に負担が転嫁されて世代間の公平が損なわれることや、償還のために他の財政支出が抑制され財政硬直化の原因となることがある。
3. 日本国債の発行残高は年々増加しており、2016年末の国債保有者の内訳を見ると、約6割を海外投資家、約2割を日本銀行、残り約1割ずつを民間銀行と家計がそれぞれ保有している。
4. 財政健全化のため基礎的財政収支（プライマリー・バランス）の黒字化が課題となっている。基礎的財政収支は、国債発行額が国債の利払費と償還費を上回っていると黒字となる。
5. 国債への依存度を下げるために歳入増加が課題となっているが、日本の国民負担率（租税負担額及び社会保障負担額の国民所得に対する比率）は、北欧諸国と比べても既に高い水準にある。

【正答 2】

【例題2】 自然の長さが20 cmのバネ1本に10 gのおもりをつるしたところ、1 cm伸びた。このバネ3本を図のようにつないで60 gのおもりをつるすと、バネ全体の長さ x はいくらになるか。

ただし、バネの重さは無視するものとする。

1. 46 cm
2. 47 cm
3. 48 cm
4. 49 cm
5. 50 cm



【正答 4】

【例題 3】 1 から 3 までの数字を各桁に使って作ることのできる 1 桁から 4 桁までの整数は全部で何個あるか。

ただし、1111 のように、同じ数字を重複して使うことができるものとする。

- 1. 105個
- 2. 112個
- 3. 120個
- 4. 129個
- 5. 131個

【正答 3】